広報 あさひまち 3
1991 MAR. 月号 NO.412
ASAHI-MACHI

特注家具に情熱もやす指物師

「ホテル自然観や水本小学校の飾り棚などをつくらせていただきました」と語るのは建具職人の遠藤辰明（よしあき）さん（真中・24歳）

高校卒業後、この分野でも特に難しいといわれる特注家具製造を専門店で四年間修業。機械化が進み楽になったとはいうものの、細かいところは熟練の腕が問われる仕事。

将来は、職人としての腕を磨くと同時に、壁や床なども手掛けられる、総合インテリア業をやりたいと意欲十分だ。

ことしの履修者は270名にのぼり、学ぶ喜びにあふれた大会となった

くらしに学びあう楽しさを

生涯学習でいきいき人生

「みんなで学び、いきいき人生を」をテーマにした生涯学習推進大会が２月24日、町中央公民館で開かれました。席上、学ぶ喜びを発表しあうなど意義深い一日となりました。今月は、生涯学習についての特集です。

生涯学習大会の席上、「楽しく学び、いきいき人生～わたしの生涯学習」と題して、五名の方から体験発表がありました。

学習活動の動機や仲間との出合い、学ぶ喜びなどたいへん感動する内容でした。まず、その一部を紹介します。

学ぶ喜び　仲間との出合い

◆白田かよさん（大谷一）

主人に先立たれた当時、私は婦人会の役員を終えていました。自分のこれまでの生活を振り返ってみると、本当に朝から晩までの働きづめの生活でした。この際、心機一転居直って、自分をいとおしんで悔いのない人生を送っていきたい。ひとつでも良いからやりたい事をやって、自分を試してみたいと強い欲望が湧いてきました。（中略）

この年になって、絵なんか描いていると何かいわれないかしらと自信をなくしてしまうこともあります。そんな時私は、あせらないでゆっくりいきましょう。絵を描く事は生きている証ですからと思うのです。

今後ますます高齢者が多くなっていきます。公民館の一室に、高齢者のための部屋をつくって戴いたら楽しいだろうなぁと、夢を描いております。

◆鈴木広之さん（小原）

私はここ五、六年、特に力を入れているものがあります。それは、自然観察とアウトドア関係で、どちらも自然をベースとしています。このきっかけとなったのが、朝日町民大学の〝新田舎生活講座〟でした。（中略）

私は山形市に通勤しています。〝冬の季節〟は朝が早くとてもつらい毎日です。会社の人には「山形へ出てきたら」とよくいわれますが、やっぱり朝日町、そして自然が好きだから、つらい朝もがんばれるのです。

講座に参加してから生活に張りが生まれ、次々と情報が入ってきます。情報はひとつのきっかけや切り口を見つけたら、自然と自分のところに集まってくるようになりました。そうなると、もうあとは自分の知識が広がる一方です。

◆斉藤チエさん（大町）

花が好きなので若い頃からその道の修業は積んできました。もう一度初心にかえって生け花の勉強をしてみようと思い、婦人文化教室に入会しました。生け花の美しさ、奥ゆかしさ、人

の心をなごませる生け花を求めて研究を続けてまいりたいと思います。

何ごとも、これで終わりということはないのです。人間〝生〟ある限り一生涯、勉強と努力を続けることが肝心だと思います。

（中略）

作品が完成した時の喜びはひとしおです。娘からは、「お母さんそのセーターを着ると若く見えてくるわよ」などといわれると、ちょっぴりいい気分になります。

◆白田金次郎さん（大谷六）

居合をはじめて二十四年。はじめは、なかなか格好よくやれない。刀を抜くことも、鞘に納めることも思うにまかせない。技を覚えることなど何時のことやら、やればやるほどむずかしさにつきあたり、これは大変なことを始めたものだと思いました。（中略）

全身、全霊を込めて、気、剣、体の一致を目指し、重い刀を操作します。全身の筋肉を使い健康のためには実によいものだと思っております。（中略）

屋敷内に、二人～三人が出来るくらいの小さな道場（練習場）をつくり、いつでも自由に居合ができるようにすることが最大の夢です。

親子で紙工作に挑戦（西部家庭教育学級）

◆布施五郎左衛門さん（松程）

高砂大学は、年寄たちがこれまでの豊富な経験や技能をいかし、仲間と共に楽しい生活が続けられるようにと、自分たちの学習の場として続けています。

学習情報と場の提供を

以上の方々の意見、提言のなかから、〝生涯学習〟の考え方を整理してみましょう。

余暇、自由時間が多くなっているなかで、「何をしてよいのかわからない」、「〇〇の学習をしたいが、どうしたらよいのかわからない」という声が聞かれます。このたびの発表のように、個人での出合いがあれば良いのですが、そうでない場合のために、公民館や農協、商工会等で計画している学習情報や学習の場を絶えず提供していくことが必要となってきます。

各世代に合った学習事業を

「高齢者の学習のために一室を」という提言がありました。せっかく学習をしたいと思っても、そうした施設がなければその意欲が湧きません。個人で対応出来ない施設は、行政や民間を含めた力で対応していく必要があります。特に朝日町では、恵まれた自然を活かした学習の場の整備が急がれています。

〝新田舎生活講座〟に入ってから、自分の学習活動の機会を見出した、という発表にもあるように、人生の各世代に合った学習事業の企画と提供が必要となってきます。

さらに、各世代間の交流や異なった職業をもつ人たちの学習事業などについても、提供していくことが求められています。

頭と指先を使っての民芸品づくり（高齢者センターの民芸部）

民踊体操で若がえり（婦人文化教室）

楽しい人生は〝学びあい〟から

学習活動を通して、仲間と共に楽しく生き生きした人生を過ごしましょう、と発表者の方々は結んでいます。

本来、学習活動は他人から強要されることなく、自分の思いのままに活動することであり、楽しさが伴ってくるものです。

しかし、長い生涯にわたる学習活動ですから、時にはとまどいや、嫌気がさすこともあるでしょう。こうした時は、自分自身であるいは、仲間と共に克服

豊かな自然に学ぶ少年教室

していくことが、学習活動に必要ではないでしょうか。学習活動を通して〝楽しく生き生きした人生〟を過ごしたいものです。

継続は生きがい

人間「生」ある限り一生涯勉強することが肝心だ、と力説された方がいました。

芸術文化活動、趣味活動、スポーツ活動、鑑賞活動等、多くの学習活動のなかで、一日で終りというようなことはまずありません。一ヶ月、一ヶ年、そして一生涯の活動であるからこそ、やりがい、楽しさ、成果があるのです。ここに、継続的な学習活動の大事な面があるのではないでしょうか。

町ぐるみの推進体制を確立

このたびの発表、提言のなかから、生涯学習についてその一部を考えてみました。それでは、朝日町としてどのような対応をしているのか、その主なことを整理してみます。

生涯学習の推進をはかるための施策として公民館施設等の整備、家庭教育学級事業の提供、講師陣の情報提供、学習資料の提供等々、その領域は広範囲なものです。ひとり行政だけの分野では限界のあるところです。

また、何よりも、学習の対象者は朝日町の全町民であり、全町民の生涯にかかわる学習活動を推進するには、全町民的な組織体制で取り組むことが必要となります。

こうした考え方から、町では、これまで町民の学習事業を企画、実践してきた行政をはじめ、農協、商工会、連合婦人会等の機関や団体の代表者の方々に働きかけを行い、その話し合いの結果、「町ぐるみの生涯学習推進体制を整えるべきである」との合意に達しました。

これは、昭和六十二年九月五日のことで、組織の名称を「朝日町生涯学習推進協議会」(以下協議会)とし、会長に町長、副会長に教育委員長が選任され、事務局を教育委員会生涯学習課に置き、その体制づくりがなされました。

協議会の主な役割は、町民の学習活動が効果的に推進されるための、総合的な立場にたった連絡調整です。将来は、連絡調整のなかでの事業実施機関ともなります。

また、協議会の円滑な運営をはかるため、各機関、団体等の事務担当者からなる「生涯学習実務担当者会」が設置されています。

担当者会は、毎月定例会議をもち、町民の学習意識調査や情報交換、学習事業のあり方などについて検討を重ねています。毎月各戸にお届けしている「月別学習事業予定表」の情報収集などはその一例ということになります。

自分が選べる「朝日町民大学」

町内で実践されている学習事業を収約してみると、年間に二百事業に達しました。これだけ多くの学習の機会があるわけです。しかも、こうした学習事業はそれぞれの機関、団体での大切な学習事業です。

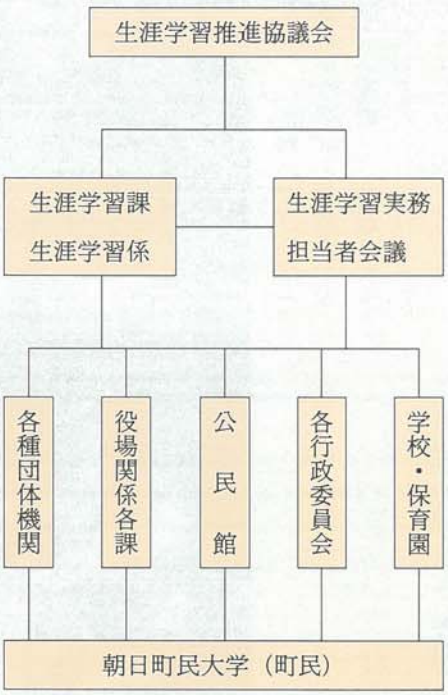
そこで協議会では、これ以上

生涯学習推進協議会
委　員　名　簿

(順不同)

1. 町長(会長)
2. 教育委員長(副会長)
3. 社会教育委員会議長
4. 自治公民館連絡協議会長
5. 校長会長
6. 商工会長
7. 農業協同組合長
8. 区長会長
9. 工業振興協議会長
10. 農業委員会長
11. 連合婦人会長
12. 連合青年団長
13. 長寿クラブ連合会長
14. 連合若妻会長

朝日町生涯学習推進体制図



の新規事業計画は当分の間見合わせる方針です。従来の学習事業を尊重し、その学習事業そのままを科目としてとり入れ、町民だれもが参加できるようにと検討し体系化をはかったのが「朝日町民大学」です。

これまでの「○○大学」と称する事業は、ある一定期間に、ひとつのテーマを設定しての講演講座方式で、一定の場所に集めるというような形態がほとんどでした。「朝日町民大学」は、町内のあらゆる機関、団体総参加で、しかも、自分達で企画した科目を導入しているというところに大きな特徴があります。

このことは、先の町ぐるみの推進体制と共に全国に類例のないユニークな大学として注目されています。

これからは、「朝日町民大学」を核とし、町民の学習意欲の向上を図りながら継続的に学習活動を推進したいものです。また、公立公民館はもとより、身近にある自治公民館を拠点とした学習形態をなお一層推進することが期待されるところです。

町民みんなが、いつでも、どこでも学ぶ楽しさを知り、「いきいきとした潤いのある生活」を感じられる、そんな生涯学習の町を築いていきたいものです。

特別寄稿

山形県生涯学習人材育成機構
専務理事
打田早苗氏

生涯学習―それは自分や地域を大事にするために

〝生涯学習〟の大切さを指摘する声は、次第に高くなっているようである。そうした指摘や提唱に対しては、無関心であったり、反発や批判の声があるのも、また事実のようである。

たしかに、〝生涯学習〟といわれる学習活動が、誰かに何かを特定の目的をもって強制され、与えられ、考え方や生き方まで操作されるようなものであれば、私もまた、きっと批判をしたり、反発をしたりする側に立つだろうなと思う。

〝生涯学習〟は、けっしてそうあってはならず、それぞれの方が、それぞれに求めるものを、それぞれのやり方で永続的に学ぶのが本質にならなければなるまい。そうした学習実践を重ねることによって、昨日よりは今日の、今日よりは明日の自分の生き方や、みんなが共に生きている社会のあり方が、より質の高い豊かなすがたになるものでなくてはならないものであろう。

その場合、そうした学習を可能にする環境条件、学習システムの整備が必要となってくるが、そうした整備は、行政を主軸とする学習機関、団体組織等が担うべき重要な役割である。

NIRA（総合開発研究機構）発行の政策研究―（一九九〇年代日本の課題・生涯学習）のなかで、その研究代表者である木田宏氏は、「生涯学習は、その基礎として個人の自己教育力、自発的学習意欲を要請し、それを助長し実践させるためのシステムを必要とするが、日本には近代的学校制度が導入される以前から、生涯学習に有利な独自の伝統がある。その大きな特徴の一つは、（明治以降、近代的な学校制度を整備し、国の近代化のためにすすめられた）〝追いつき型〟（教育）ではなく、〝深め型〟の学習の尊重である。「精進」「稽古」「一芸」「修養」「道」「気質」などという概念があり、人間は生涯、技を磨き、道を究めなくてはならぬと考えられてきた。そして、それを実現するためには、「塾」「道場」「段」「免許」「奉公」「組」などという制度が発達した。職業、学芸、趣味、社会化などと広く一般大衆にまで、この種の生涯学習が行き渡り、その伝統は今も日本人の心の中に生き続け、私的な学習に受け継がれている。」と述べておられるが、まさに〝生涯学習〟は、こうしたひとりひとりの学習者の意思に基づく、自らの資質、能力、人格の〝深め型〟の学習でなければならぬのである。

次に整理しておきたいのは、〝生涯学習〟をすすめる際の学習の課題をどうとらえ、どう設定していくかということである。

人間誰だって、たった一度のかけがえのない人生を大事に生きようと思えば、生まれてから死ぬまでのそれぞれの発達の段階においても、その人その人の職業生活や市民生活の場面においても、そしてまたその人その人の人格づくりにあたっても解決しなければならない課題があろうし、より積極的に充実していかなければならぬ学習の課題もある。

さらにはまた、私達は孤独でひとりよがりに生きることはできない。活力とおもいやりに満ち、未来展望の明るい地域の中で生きる幸福を誰もが願っていよう。とすれば、そうした地域や社会を創造するための課題を解決し、さらに積極的に先取りし、展望を拓いていく力をつける学習も広げ深めていかなければなるまい。箇条書き的な表現をすれば、〝生涯学習〟とは、「かけがえのない自分自身の、より充実した生活づくり、生涯づくり」のために学ぶこと、同時に「私達みんなが共に生きる社会の、より豊かなシステムづくり、未来づくり」のための課題を、ひとりひとりが拾いあげて学ぶことと言えるのではあるまいか。

町政スポット

あすのふるさとこの一票で

統一地方選挙の日程決まる

4/21 県議会議員選挙
4/7 町議会議員選挙

（3/29 告示）
（4/16 告示）

統一地方選挙の日程が決まりました。四月七日に山形県議会議員選挙、四月二十一日に朝日町議会議員選挙が行われます。棄権せず、自分で判断し清き一票を投じましょう。

投票できるかた

県議会議員選挙では、昭和四十六年四月八日以前に生まれた方で、平成二年十二月二十八日以前に転入届を出した方です。

また、町議会議員選挙では、昭和四十六年四月二十二日以前に生まれた方で、平成三年一月十五日以前に転入届を出し、投票日当日、朝日町に住所を有する方です。

ただし、朝日町の選挙人名簿に登録されている方で、県内の市町村に住所を移した場合は、その住所移転が一回限りであれば、県議会議員の投票は朝日町でできます。この場合、移転先の市町村が発行する「引き続き山形県内に住所を有する旨の証明書」が必要になります。

不在者投票は早めに

投票日当日に仕事や旅行などのために、投票所に行って投票できない方は、それぞれの選挙

第3次町総合開発基本構想を審議

朝日町振興対策審議会

町の重要な計画などについて審議する、第二回の振興対策審議会（川嶋正一会長・委員15名）が二月二十五日役場会議室で開催されました。

この日は、これから十年間の町づくりの指針となる第三次朝日町総合開発基本構想案を中心に、予定時間をオーバーするほど熱心に審議されました。

今回審議された構想案は、「楽しい生活環境観・エコミュージアムのまち」を町づくりの基本理念として、中山間地営農形態の確立や人材の養成に重点を置くなど、二十一世紀をめざした町づくりの新しい方向づけがなされています。

その中で、特に話し合われたことは、これまでの経済至上主義的な開発路線から生活重視型に切り換えた構想となっていること、時代の流れに沿った内容とはなっているが、果たして町民がどの程度理解し、共感してくれるのか、また現在の町の経済力に見合った構想なのか、などの意見が出されました。

全体としては、より良い二十一世紀を迎えるためには、目標を高く持ち、あらゆる計画や事業にこの町づくりの理念を生かしていくことが大切である、という方向が示されました。

町づくりについて熱心に話し合う委員のみなさん

前回の投票日風景

の投票日の前日まで、不在者投票ができます。

不在者投票は、午前八時三十分から午後五時まで、印鑑を持参の上、役場選挙管理委員会または西・北部公民館へおいで下さい。土曜日、日曜日でも受け付けます。

なお告示日前から長期出張等で不在になる場合は、滞在地の選挙管理委員会で不在者投票ができます。できる限り早めに、朝日町選挙管理委員会に申し出て下さい。(告示日前でも投票用紙の請求はできます。)

郵便による不在者投票

身体障害者、戦傷病者の手帳をお持ちの方で、両下肢、体幹等の障害で一定の条件に該当する場合は、「郵便投票証明書」の交付を受けて自宅で投票ができます。該当する方は、早めに申し出て下さい。

なお、この証明書の有効期限は、交付の日から四年間となっています。その期限が切れると郵便による投票はできませんので、すでに交付を受けている方は有効期間を確かめて下さい。投票日前に期限が切れる場合は、再度、「郵便投票証明書」の交付を申請して下さい。

選挙に関する問い合わせは、町選挙管理委員会へ。
(☎六七―二一一一)

統計スポット

10年間にみる農家数の推移
'90世界農林業センサス

昨年2月1日の1990年世界農林業センサスの結果がこのほど公表され実態が明らかになりました。そこで、その内容について分析してみましょう。

まず、農家数の推移を見ると、総農家数では10年間に273戸、15.2%の減少、5年前との比較では97戸、6.0%の減少となっています。一方、農家数が減少している中で、専業農家は5年前には一時減少したものの、今回は増加に転じ10年前を上回る数になっています。

この表で最も変動が大きいのは第一種兼業農家数で、10年間に313戸、46.0%減少、約2戸のうち1戸が他へ移行したことになります。また、第二種兼業は徐々に増加傾向にありますが、ほぼ横ばいの状況となっています。

以上のことから、第一種兼業の減少が第二種兼業農家へ移行し、その数を維持しています。また若干ですが専業農家へ移行したものと分析されます。

朝日町の農家数

区分	1980年		1985年		1990年	
	戸数	構成比	戸数	構成比	戸数	構成比
総農家数	1,795	100.0	1,619	100.0	1,522	100.0
専業農家	238	13.3	201	12.4	242	15.9
兼業農家	1,557	86.7	1,418	87.6	1,280	84.1
第一種兼業	680	37.9	533	32.9	367	24.1
第二種兼業	877	48.8	885	54.7	913	60.0

平成四年全線開通めざす

総会 山形朝日線整備促進期成同盟会

平成四年開通をめざしている主要地方道山形朝日線の促進期成同盟会総会が二月二十八日、町中央公民館で行われました。

総会には、朝日町、山辺町の沿線住民約百名が出席。来賓には木村、新目の両県議会議員と小林朝日町長並びに鈴木山辺町長ら多数が出席し、盛大に行われました。

席上、鈴木四郎同盟会長から「私たちの半世紀にわたる促進運動が間もなく集大成されようとしています。平成四年〝べにばな国体〟開催までに全線開通されるよう最後までがんばろう」と力強いあいさつがありました。

続いて寒河江・山形の両建設事務所より、工事の進み具合について説明。送橋工区については、平成二年度に三億三千八百万円を投資し、二つの橋を整備。平成三年度には橋の一部と舗装工事を行い、平成四年夏頃まで完成させたいとしています。

平成4年完成をめざした同盟会総会

カメラさんぽ

ひと足お先に春がきた

第12回 北部地区素人演芸会

平成三年三月三日のひなまつり。それに大安吉日。今年も長く厳しかった冬を追い出し、春を呼ぶまつり北部地区素人演芸会がにぎやかに行われました。

今年で十二回を数えるこの催しも、すっかり北部の伝統行事になりました。プログラム内容も一段と充実し、詩吟、日本舞踊、ダンスなど、趣向を凝らした芸能を披露。会場いっぱいの四百人の観衆と出演者がひと足早く春を楽しんだ一日でした。

「え～と次は○○さん」
舞台裏でメモを見る司会の
白田正昭さん（大谷五）

オーディオ機器持参で毎年協力してくれる
鶴見博俊さん（栗木沢）

華麗なステップを踏む紳士と淑女

化粧をする手つきも慣れたもの

玉コンニャクに入れたゲソ私食べちゃお！
北部地区若妻会による売店は完売の盛況

この腰つき、とても素人とは思えません

そろいの扇子にそろいの衣装で熱演

ピース、私たちもう終わっちゃいました

楽屋から舞台への花道で〝ハイポーズ〟

拍手かっさいを浴びた子供たちの舞踊

おしりをむけてごめんなさいね。
「〝花〟はひとつも残さず拾うのよ」と婦人会の支部長さん

ひろば

■連絡先
役場企画情報課
企画広報係へ
☎67−2111（内222）

極寒の葡萄の雫

「アイスエッセンス」魅惑のタベ

早春のワインパーティー

ワインファン注目の的「アイスエッセンス」の発売を前に、発表会を兼ねたワインパーティーが三月一日、農業団地センターで開催されました。

パーティー会場は、電子オルガンの生演奏が流れるなか町内外のワインファンでぎっしり。

参加者たちは民族衣装を身にまとったワイン娘たちから極寒の雫をグラスに注がれ、ひときわワイン談義に花を咲かせました。また、アトラクションとして今はやりのビンゴゲームやジャンケン勝ち抜き大会も行われ、参加者たちはワインの魅力とゲームを十分楽しみました。

今年のパーティーも多くの女性ファンでにぎわいました

この「アイスエッセンス」は、原料の完熟ブドウをいったん凍結させ、そのなかの糖度の高い濃厚な果汁を取り出し、自然の寒さのなかで特殊醸造した極甘口のワイン。通常のワインは、七百二十ml一本つくるのに約一kgのブドウが必要ですが、アイスエッセンスは、同量つくるのにその二倍のブドウを要します。

今年発売される「アイスエッセンス」は、白、ロゼそれぞれ一万四千本の限定発売。昨年よりそれぞれ千五百本を増産しましたが、ほとんどが予約で完売の売れ行き。ワイン工場長の白田重明さんは、「これは年々高まるアイスワインの人気と今年のワインの出来の良さにあるのでは」と人気の秘密を分析。

会場の多くの女性ファンからは、甘くて飲みやすく、しかもフルーティーな味が気に入ったという声が多く聞かれました。

わたしのおじいちゃん

大沼／
小林歩夢ちゃん（大沼分校5年）
若菜ちゃん（〃　3年）
美里ちゃん（5歳）
小林忠男さん（77歳）
みのゑさん（73歳）

私のおじいちゃんは働き好きで、毎日働いています。おので木を割ってから、たくさん家の中に運びます。くたくたになっている時は、私が手伝います。でも、じいちゃんは、「あぶないから、あっちさ行ってろ。」といいます。とてもやさしいのです。でも、おこるときはこわいです。

山でも働きます。一年中大変な仕事ばかりしています。体に気をつけて、がんばって下さい。

障害者の雇用に貢献

㈲日山製作所へ感謝状

県心身障害児者を励ます会（服部敬雄会長）主催の表彰式が、二月十三日県庁で行われました。

席上、㈲日山製作所（石井喜久男社長）が福祉功労者として感謝状を受賞。これは、当社が昭和五十七年有限会社設立以来障害者を積極的に雇用し、職場定着と、自立更生に貢献したことが認められたものです。

現在当社は、七十名の従業員で音響機器部品の製造と組み立て作業を行っています。そのなかで三名の障害者たちは、それぞれ無理のない作業で、はりきって仕事に励んでいます。

受賞を喜ぶ石井社長

町民の

このひろばはみなさんのページです。話題やご意見、作品など、ご自由にお寄せ下さい。

村山昭子さん
（本町・56歳）

ひとことトーク

歌は心の栄養剤
～ママさんコーラス10数年～

寝たきりの義父の食事や、身の回りの世話だけの日課は昔話になりました。

気持ちよく看病ができるようにと始めたママさんコーラスも、十数年になります。歌は三度の食事より好きな私ですが、決して上手ではありません。

好きな者同志、和音を楽しみ声を合わせていると不思議に年齢も忘れてしまいます。歌うことで感じる人間の思いやりやあたたかさなど、日常生活では得られない、深い感動を味わうことができ、とても幸せな気分になります。

忙しい毎日の生活の中で、好きな歌を歌うことは、体はもとより、心の健康管理に役立っていると信じています。

ふるさと人国記 11

布施なかゑ
―朝日町連合婦人会の初代会長―

ふるさとの水で生れた鮭が、やがて母なる川に帰るように、人間もまた、それが当然であるかのように、母なるふるさとへ帰る。さまざまな想いと身についた力を集めてふるさとに尽くし、そして一生を終える。

明治三十二年十月、大谷村大沼の小林千代太氏二女として生れた彼女は、自然の霊気をうけて育ち、人間としての生き方を学び、やがて、中宿（なかじく）の鈴木貞一郎氏の勤務する朝鮮（現韓国）へ十三歳で赴（おもむ）き、手伝いをしながら青春の日を迎える。

警察官と結婚して布施姓となり一男子をもうけるが、幸せは短く、夫は病死し息子は出征という境遇の果てに、彼女は昭和十六年に身を切られる思いで鈴木貞一郎氏の妻女いしを頼りに中宿宅にたどりつくのである。

頼みの息子も戦死し、失意の中でも彼女はひたすら世の人のために尽そうという決意をかみしめていた。

昭和三十年四月三日、宮小を会場に七百名の婦人が結集し、朝日町連合婦人会が発足した。会長には宮宿町婦人会長の布施なかゑが推されて就任した。連合婦人会は結成当初から、青年や教師と語る会を実施し、会員相互の研修を重視して運営された。昭和三十四年三月までの会長職を、温厚な性格と識見でつとめあげた。

朝日町教育委員にも就任し、子どもたちの教育に専念。晩年は上村家の養母となり、安らかな心境で人に接し敬慕される。逆境に耐え人と和しつづけた生涯であった。昭和四十九年二月二日永眠。

文・杉 ひさし

伝言板コーナー

独身男性にのぞむ積極性

昭和六十二年の広報に仲人道を発表して早四年。私も今年七十歳となったのを機会に、結婚適齢者のみなさんに、結婚相談員としてひとことお話を申し上げたいと思います。

平成二年までに私が仲人をしたのはちょうど四十組。一番始めは昭和二十三年で二十八歳でした。あの当時は戦後まもないことで、縁談を勧めると必ずまとまるという時代で、今とは正反対に女性が多く、男性不足の時代だったようです。

昭和五十五年から六十年まで西村山福祉結婚推進委員を五年間しました。昭和五十八年当時は、一年に二十三回見合いをさせて三組が結婚。昭和六十年は三十七回で四組。平成二年は四十三回で二組が結ばれました。しかし、一ケ月に七組も見合いをさせながら、一組もまとまらないということもありました。

このような状態を考えると、現在は仲人をするにはとてもやりにくく、見合い結婚は成立しにくい時代となったように思います。

結婚適齢者のみなさん、自分の結婚相手は仲人をあてにしないで自分で見つけましょう。そして、自分の好きな人が見つかったら出費を惜しまず、プレゼントをしたり、食事に誘ったりして相手に誠意を見せて下さい。少々の出費を惜しんだために、自分の幸せや、家族の幸せを逃したりすることのないようにしてほしいものです。

結婚相談員
佐久間源七さん（栗木沢）

町の調べでは、二十歳から二十五歳までの未婚者の比率は、男性四人に対して女性三人。それが、三十歳代では男性五人に対し、女性一人という状況になっています。

この厳しい状況の中で一番大事なことは、適齢者のみなさんの「結婚をする」という強い意志ではないでしょうか。

最近の若い人たちをみていると、本当に結婚をしたいのか、と疑問を持つことがままあります。友人や家族ではなく、自分が結婚をするということをしっかり認識してほしいものです。

私も年はとりましたが、一人でも一組でも幸せになればと思い、これからも仲人を続けていく覚悟です。

みごとなハーモニーを披露するあめっかぜのみなさん

春風をあなたに

あめっかぜ「音もだちコンサート」

ひなまつり前夜の三月二日、「音もだちコンサート」が町中央公民館で催されました。

主催したのは、松田昌弘さん（長沼）を中心とした26名の青年歌声サークル〝あめっかぜ〟。同サークルは、やさしさを歌えば風になるを相言葉に、町の自然や生活をテーマにオリジナル曲をつくり活躍中。昨年八月にはまぼろしの唄といわれていた「西五百川音頭」を復活。また、秋田市で行われた障害を持つ人たちが主催した「であいのコンサート」に出演するなど、幅広い活動を展開しています。

会場となった中央公民館大ホールは町内をはじめ、大江町や寒河江市から駆けつけた音もだち二百名で満席。団員たちは「いろり」や「この町が好き」などのオリジナル曲十数曲を披露。

また、朝日ママさんコーラス指導者の斉藤儀一郎さん（大江町）の友情出演もあり、歌声の輪がまたひとつ広がったコンサートになりました。

手づくりのひなまつり

おはなし会ぶなの実

三月二日、おはなし会ぶなの実主催による「おひなさまおはなし会」が宮宿公民館で行われました。

お母さんと一緒に参加した約三十名の子供たちは、ひなあられをもらいさっそく折り紙でおひな様つくりに挑戦。小さい手から、かわいいおだいり様とおひな様ができあがりました。

その後は、お話しやパネルシアターなどでひなまつりを祝いました。

おひなさま上手につくれたかな？

ふるさとめぐり〈10〉

子ども樽みこしで地区の活性化

太郎1・2

天気はわるくとも、元気に練り歩く子供たち

地区民の信仰を集めている「大日様」は地区のはずれの小高い所にあります。ここには、町指定文化財の「春耕絵図」があり、他にも絵馬などが数多く奉納されています。

ここのお祭りは、昭和四十年頃までは露店も出て大変にぎやかでしたが、やがて露店も来なくなり、境内から子供たちの姿も消え寂しいものとなりました。

そこで、四年前に区、子ども会、婦人会、それに有志が集まり地区の活性化のため子ども樽みこしを始めたのです。樽はもちろん地元酒店の提供。みこしは半日がかりで地区を一巡します。体力が低下している現代っ子にはかなり厳しいようです。

でも、地区民みんなの応援で何とかやりとおします。境内では、若妻会がにわか露店商になり、焼鳥やおもちゃなどを売り雰囲気を盛り上げてくれます。

そして男たちは、大いに酒を飲み口角泡をとばし村づくり談義に花を咲かせるのです。こんな楽しい祭りは、桜の訪れる四月二十九日に行われます。

（小川澄夫　広報委員）

夢と希望を胸に旅立ち

朝日分校卒業式

3月2日、県立左沢高校朝日分校の卒業式が行われ、40名の卒業生は思い出多い学び舎をあとに旅立ちました。

在校生と父兄が見守るなか、卒業生を代表し長岡仁くん（西町）に、井上博校長より卒業証書が手渡されました。その後式辞に立った井上校長は「朝日分校生としての誇りを持ち、自分を大切にすると同時に、他人に対する思いやりの心を忘れず21世紀にはばたいて下さい」と激励。

卒業生を代表し、長岡真紀子さん（常盤）が三年間の思い出や感謝のことばを述べ、後輩や先生方と別れを惜しみました。

今春の卒業生の進路は、進学7名、県外就職10名、県内23名。そのうち町内就職は6名となっています。

40名を代表し卒業証書を受けとる長岡仁くん

20年の思い出つづる

高砂大学が文集発行

西部地区高齢者学級の高砂大学（布施五郎左衛門学長・学生一五四名）が、発足二十周年を記念して文集「高砂」を発行しました。

文集には、二十年間の活動のあゆみや人生の思い出などを随筆、俳句、短歌にして約五十編を収録。

原稿の執筆から編集まで、すべて大学生自らが行ったという三十一ページの力作。配本は全大学生に行う予定です。

朝日町の四季をスナップ

3/20から「桃源郷写真展」開催

「朝日町の自然のすばらしさや、人々の暮らしの様子を撮り自分の住む町をもう一度見直そうとはじめました」と語るのは遠藤憲一さん（舟渡・35歳）。

宮宿地内のある銀行のロビーに毎月三枚、四季折々の風景写真が並びます。

海外研修で、インドシナ半島を旅した時からカメラの魅力に取り付かれ四年余り。天気の良い日曜の午前中が撮影時間帯。撮影場所を求めて足まめに通うことが一番と話します。

足で稼いだ力作三十点を今度は『桃源郷写真展』と銘打って個展を開催する予定。三月二十日から三十日まで町中央公民館で行われます。

自慢のスナップと遠藤さん

ール競技は朝日町で開催されます！

が、
なります。
、大会を支え盛り上げる大勢の町民み

壮年ソフトボール競技を成功させまし

ンストレーション・スポーツ行事につい

ります!!

体！みんなが主役

トボール

7日・8日
朝日中学校グランド
西部地区総合運動場
大谷地区運動広場
選手15名
村1チーム参加
成3年度に、予選会を行い
を
！

40歳以上のお父さんは！

インディアカ

18歳以上だれでも！

① 平成4年10月5日
② 舟形町
③ 監督1名、選手7名(男女混合)
④ 県内各市町村1チーム
⑤ 平成3年度に予選会を実施
愛好者募集!!

図の見方//
① 開催日
② 会　場
③ 選手構成
④ 出場チーム(者)
⑤ その他

グランドゴルフ

18歳以上だれでも！

① 平成4年10月7日
② 立川町
③ 男女共通
④ 県内各市町村、代表者10名参加
⑤ 男女オープン戦
愛好者募集中!!

ゲートボール

18歳以上だれでも！

① 平成4年10月7日・8日
② 大石田町、大蔵村
③ 監督1名、選手7名の男子チーム、女子チーム
④ 県内各市町村、男女2チーム
⑤ 平成3年度に予選会を実施

家庭婦人バレーボール

25歳以上のお母さんは！

① 平成4年9月6日・7日
② 大江町、松山町
③ 監督1名、選手12名
④ 県内各市町村1チーム
⑤ 平成3年度に予選会を実施し、参加チームを決定します！

詳しいことの問い合わせは！
朝日町教育委員会　生涯学習課社会体育係まで
（TEL　67―2111　　内線　312）

第7回 朝日自然観スキー大会

第七回朝日自然観スキー大会が、自然観スキー場ハートピアゲレンデで二月十七日、行われました。当日は小学四年生から高校・一般まで百十六名の選手が、吹雪のなかタイムを競いました。成績は次のとおりです。
▼小学四年男子／①峯田真人(西小)②鈴木友悟(西小)③鈴木祐二(宮小)▼小学五年男子／①岡崎稔(水本小)②阿部剛寅(西小)③阿部宗広(西小)▼小学六年男子①大井友輔(宮小)②大井修(立木小)③浅岡敬雄(宮小)▼中学男子／①海野裕也(大江中)②鈴木友晴(長井北中)③菅野俊

平成４年『べにばな国体』壮年ソフトボ

綱引

18歳以上だれでも！

① 平成４年10月６日
② 金山町、平田町
③ 監督１名、選手10名、男子チーム、女子チーム、混合チーム
④ 県内各市町村、男女混合の各１チーム
⑤ 平成３年度に予選会を実施

町民ひとりひとりの参加 国体成功への大きな力に

べにばな国体を成功させるためには
なさんの協力が必要です。
町民一丸となって〝べにばな国体〟
よう!!

今回のお知らせは

県内13市町村で行なわれるデモ
ての話題です。
町民のみなさんに参加資格があ

少年スポーツ

スポーツ少年団に加入している４年生以上の小学生！

① 平成４年９月６日
② 天童市、山形市
③ 柔道(男・女団体)　卓球(男・女団体)
剣道(男・女団体)　バドミントン(男・女団体)
バスケ(男・女　)　ソフト(男・女　)
サッカー(男　)　軟式庭球(男・女個人)
野球(男　)　体操(男・女　)
バレー(男・女　)　空手(男・女、団体、個人)
レスリング(男・女　)　相撲(男団体、個人)
陸上(男女共100M、400MR、走り高跳び、走り幅跳び、ボール投げ。男子1000M、女子800M)
④ 県スポーツ少年団西村山支部予選会に参加して、出場権を得る

ウォークラリー

① 平成４年10月４日
② 朝日村
③ 落合第１、第２コース
大網コース
田麦俣コースの４コースにグループ参加。
⑤ 個人参加で希望者は直接申し込み

壮年ソフ

① 平成４年９月
② 朝日町
藤島町
③ 監督１名、
④ 県内各市町
⑤ 朝日町は平
参加チーム
決定します

年齢問わずだれでもOK!!

歩くスキー

① 平成４年１月26日
② 最上町
③ ３km、５km、10kmコース
⑤ 個人参加で希望者は直接申し込み

年齢問わず!! ３～５名のグループで参加

入選作品

私の好きな朝日町の風景

和合小６年・佐藤　幸子

上郷小３年・安藤　美穂

彦（長井北中）▼高校・一般男子／①海野尚一（大江ク）②清水信一（大江ク）③鈴木良浩（朝日町）▼小学四年女子／①伊藤彩（大江ス）②高橋愛（水本小）▼小学五年女子／①大井由美（立木小）▼小学六年女子／阿部咲子（立木小）②若月美香（大江ス）③阿部聖子（西小）▼中学女子／①孫田美佐子（長井北中）②青木聡美（長井北中）

こせきのまど

■2月1日～28日届出

すこやかに（出生届）

区名	出生児氏名	父名
大船木	佐藤 央規（ひろき）	幸義
八ツ沼	阿部 勇佑（ゆうすけ）	勉

やすらかに（死亡届）

区名	死亡者氏名	世帯主
前田沢	村山 シゲ	シゲ
大谷四	木村 チヨ	チヨ
本町	佐藤 きよ	俊實
石須部	長岡重次郎	重信
栄町	鈴木 正雄	茂
中沢	堀 正	健吾
大暮山	阿部 清一	清七
小原	菅井きみゑ	健吉

「相馬野馬追の旅」

平成三年度朝日町民号

◆期日　七月二十四日㈬～二十五日㈭　一泊二日

◆費用　一人・三万六千八百円

町ではフルーツライン左沢線の利用促進と、町民の心のふれあいを深めるため「お座敷列車朝日町民号」を運行します。ぜひご参加下さい。（詳しくは次回のおしらせ板でおしらせします。）

みんなでおぼえよう「べにばな国体音頭」

国体県民運動の一貫として、「べにばな国体音頭」ができました。その普及講習会を行います。町民みんなでおぼえて国体を盛り上げましょう。

◆期日　3月26日㈫午前10時

◆会場　町民体育館

◆講師　鈴木豊喜与　先生

内履をご準備下さい。なお参加料は無料です。

二月にチョウが舞った

外は厳しい寒さが続く二月十二日、朝日病院の検査室の中で一羽のチョウが優雅に舞っていました。

このチョウは、二月五日の早朝職員玄関で、同病院の白田博司さんから保護されたもの。

花の咲く暖かい部屋に移されたチョウは、すっかり春の気分。

■おわびと訂正

広報「あさひまち」二月号のこせきのまどで栄町・松田健太君が松田健汰君の誤りでした。おわびして訂正いたします。

●宇津野／星野　則之さん
美幸さん

さやか新婚さん

二人の出会いは東京からUターンしてきた則之さんが、美幸さんの勤める会社に就職したのがはじまり。

友達と一緒に飲みに行って意気投合し3年間の交際を経てゴールイン。冬の日本海やディズニーランドへと遠出を楽しむ二人。ドライブの帰り福島から雪が降りだし散々な目にあったことも。

海が大好きな則之さん「今年からジェットスキー（マリンスポーツ）を始めるんです！」と熱っぽく語ってくれました。

子供は3人、平凡でもいいから温かい家庭を築いていきたいと語るお二人です。

（斉藤文子　広報委員）

人口と世帯数

●平成3年2月28日現在

人口		10,642（−12）
	男	5,270（−5）
	女	5,372（−7）
世帯数		2,575（−3）

（　）内前月比

春夏秋冬　編集後記

ピーンとはりつめた静けさのなか、〝蛍の光〟が体育館に流れる。感激のあまり涙を流す女生徒も見受けられます。卒業式には、何とも言えない一種独特の雰囲気があります。

三月二日は朝日分校の卒業式。早春のおだやかな陽ざしのなか四十名の卒業生は、恩師のあたたかい励ましの言葉と後輩からのつつましい花束を胸に、めざす目標に向かって力強く飛び立っていきました。

今年の卒業生の進路状況は、短大や各種学校への進学者が七名。それに県内就職者が二十三名と半数を超えているのが特徴。そのうち十五名は、自宅から通勤できる町内企業や、大江町や寒河江市の会社などに就職が決まりました。

進学する人も就職する人も〝朝日分校健児〟の精神を忘れずにがんばってほしいものです。（K）